

平成21年度いわて市町村行財政コンサルティング 診断調書（データ編）

市町村名 北上市

【普通会計の状況】

〔表1〕 財政力・歳入構造の自立度・安定度 （⇒財政的な基礎体力があるか） （単位：百万円、％）

項 目		H15	H16	H17	H18	H19	H20	県 平均 (H20)	H20年度の状況 順位	改善又は悪化 の傾向(H15比)
標準財政規模(臨財債含む)		21,753	20,813	20,821	21,147	21,118	21,425			▲ 328 ↓
財政力指数		0.59	0.61	0.63	0.65	0.67	0.71	0.35	2	0.12 ↑
自主財源比率		42.8	51.7	52.2	50.6	53.9	56.8	29.9	1	14.0 ↑
地方税	地方税額	11,069	11,291	11,903	11,950	13,260	13,483			2,414 ↑
	地方税の歳入割合	29.9	36.1	37.9	38.2	41.4	41.8	19.7	2	12.0 ↑
	市町村税の徴収率	90.3	90.1	90.7	92.3	92.6	92.3	92.3	19	2.0 ↑
	国保税の徴収率	73.3	73.3	73.5	74.8	75.1	70.4	70.9	30	▲ 2.9 ↓
交付税	地方交付税額(臨財債含む)	9,049	7,596	7,017	6,679	6,072	6,097			▲ 2,952 ↓
	交付税依存度	24.4	24.3	22.3	21.4	19.0	18.9	44.5	2	▲ 5.5 ↑

(参考) H21財政力指数 0.71

〔表2〕 収支と基金残高 （⇒基金の取崩しに頼る財政運営となっていないか。実質単年度収支の3年連続赤字は要注意）

実質収支比率		1.8	1.8	1.3	1.5	1.0	3.2	3.3	16	1.4	↑
実質単年度収支比率		▲ 0.2	▲ 0.1	▲ 0.5	0.2	0.0	4.2	2.7	14	4.4	↑
基金	基金現在高	6,962	6,354	5,032	4,191	3,267	2,471			▲ 4,491	↓
	うち財政調整基金	896	897	898	900	901	813			▲ 83	↓
	うち減債基金	4,470	3,833	2,608	1,922	1,057	806			▲ 3,664	↓
	基金残高倍率	32.0	30.5	24.2	19.8	15.5	11.5	30.3	33	▲ 20.5	↓
連結実質赤字比率						0.16	-		-		
一借限度額(普通会計)		3,000	3,000	3,000	4,000	4,000	4,000			1,000	↓
一借限度額倍率		13.8	14.4	14.4	18.9	18.9	18.7	18.8	16	4.9	↓

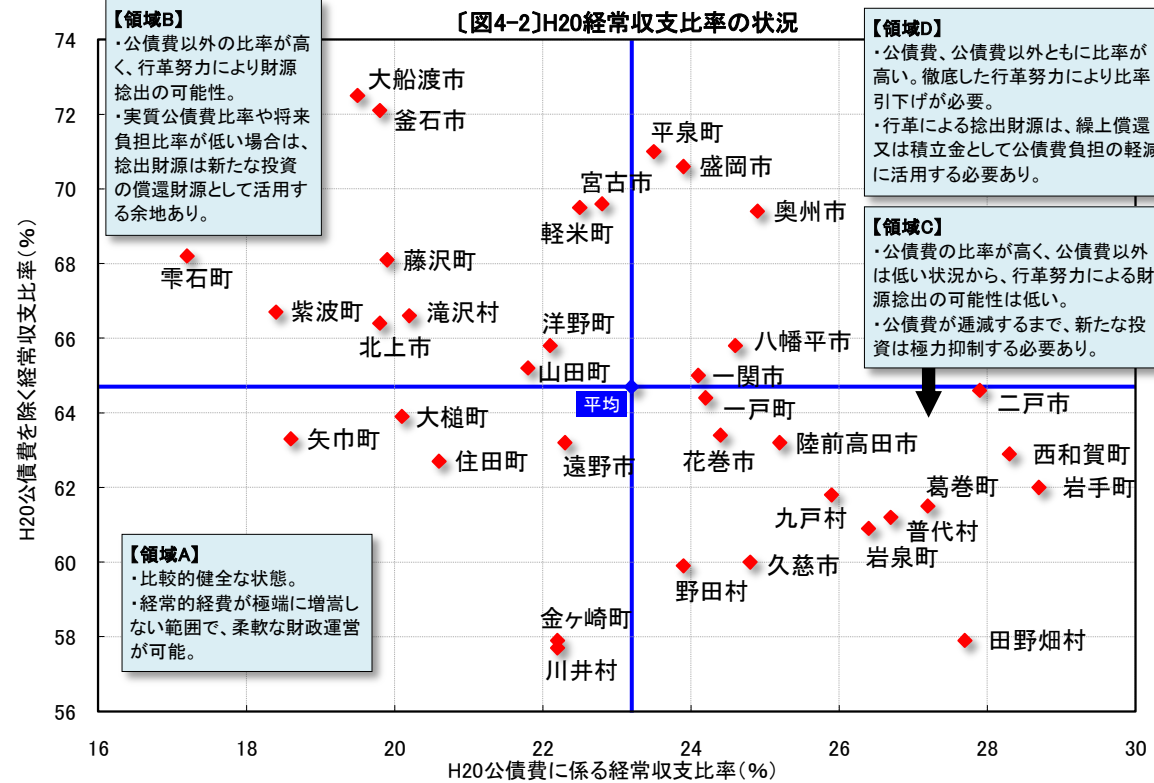
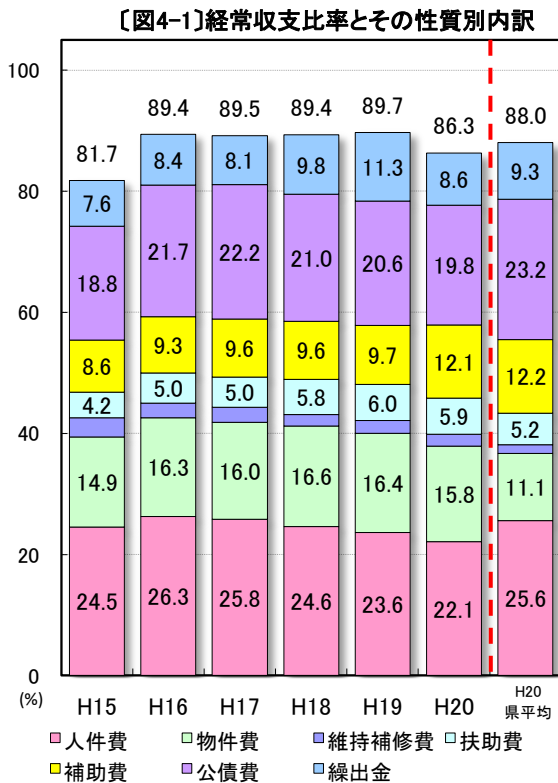
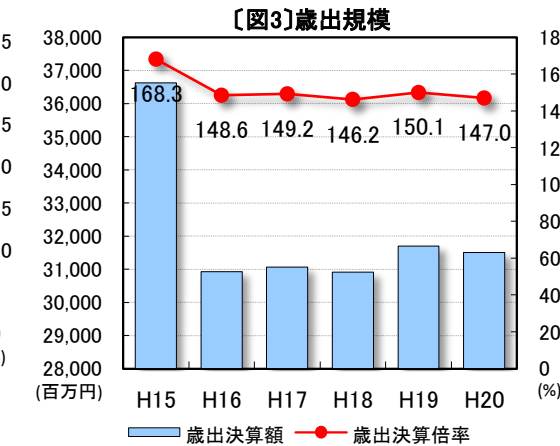
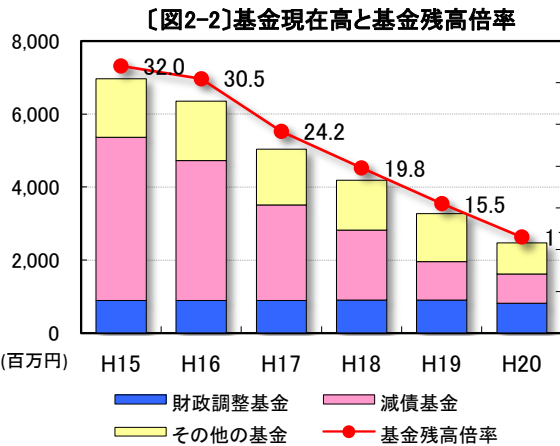
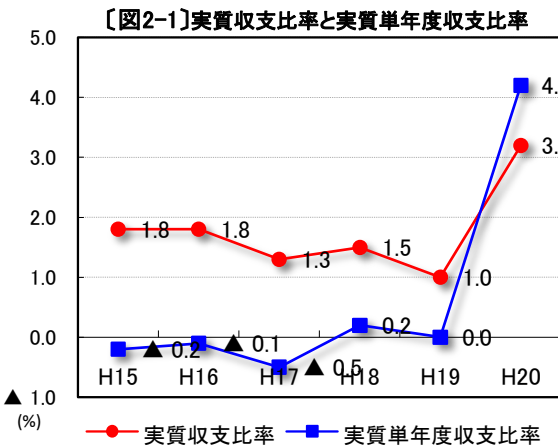
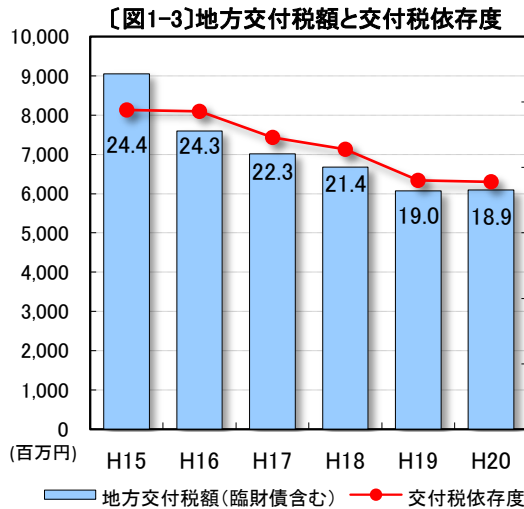
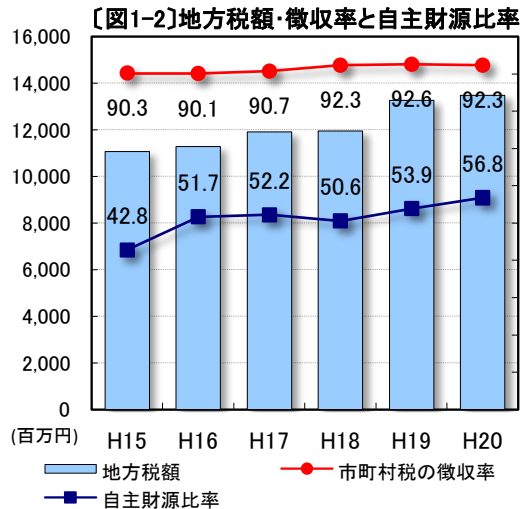
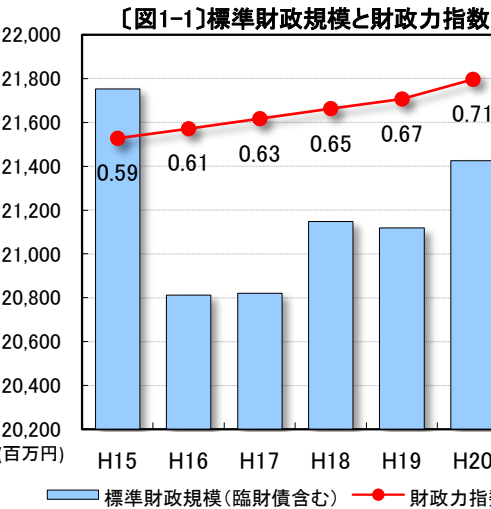
※分母となる標準財政規模には、臨時財政対策債発行可能額分を加算している。(以下の比率において同じ。)

〔表3〕 歳出規模の適正度 （⇒実質単年度収支が赤字の場合、身の丈にあった歳出規模となっているか）

歳出決算額	36,621	30,930	31,057	30,907	31,700	31,506			▲ 5,115	↓
歳出決算倍率	168.3	148.6	149.2	146.2	150.1	147.0	149.0	17	▲ 21.3	↑

〔表4〕 財政構造の弾力性 （⇒どの経常的経費の割合が高いか。義務的、経常的経費により財政が硬直化していないか）

経常収支比率		81.7	89.4	89.5	89.4	89.7	86.3	88.0	12	4.6	↓
性質別 内訳	人件費の比率	24.5	26.3	25.8	24.6	23.6	22.1	25.6	5	▲ 2.4	↑
	物件費の比率	14.9	16.3	16.0	16.6	16.4	15.8	11.1	34	0.9	↓
	維持補修費の比率	3.2	2.4	2.5	1.9	2.1	2.0	1.4	27	▲ 1.2	↑
	扶助費の比率	4.2	5.0	5.0	5.8	6.0	5.9	5.2	23	1.7	↓
	補助費等の比率	8.6	9.3	9.6	9.6	9.7	12.1	12.2	16	3.5	↓
	公債費の比率	18.8	21.7	22.2	21.0	20.6	19.8	23.2	5	1.0	↓
繰出金の比率		7.6	8.4	8.1	9.8	11.3	8.6	9.3	17	1.0	↓
経常収支比率(公債費除き)		62.9	67.7	67.3	68.4	69.1	66.5	64.7	24	3.6	↓



〔表5〕 人件費と公債費の適正度 （⇒財政硬直の最大要因である人件費、公債費の状況はどうか） （単位：百万円、％）

項 目		H15	H16	H17	H18	H19	H20	県 平均 (H20)	H20年度の状況		
									順位	改善又は悪化 の傾向(H15比)	
職員数 と 人件費	職員数	726	714	701	684	664	638			▲ 88	↑
	うち普通会計関係	650	637	621	607	589	569			▲ 81	↑
	うち企業会計等会計	76	77	80	77	75	69			▲ 7	↑
	人口千人当たり職員数	7.8	7.7	7.5	7.3	7.1	6.8	12.7	3	▲ 1.0	↓
	ラスパイレス指数(給与水準)	96.1	96.8	97.3	96.9	98.3	97.1	95.5	30	1.0	↓
公債費	公債費負担比率	16.5	18.7	19.1	18.6	18.7	19.3	20.5	11	2.8	↓
	実質公債費比率(3ヵ年平均)			15.8	17.5	16.6	14.7	17.0	9	▲ 1.1	↑

※職員数・ラスパイレス指数は(n+1)年度4月1日現在。 ※実質公債費比率は(n+1)年度の値

〔表6〕 投資的経費の状況 （⇒社会資本整備のための投資的経費の状況はどうか）

歳出に占める普通建設事業費の割合	26.3	10.8	10.9	10.1	10.8	8.5	13.4	32	▲ 17.8	↓
うち単独事業	21.3	8.8	9.1	6.3	7.1	5.0	7.1	24	▲ 16.3	↓

〔表7〕 プライマリーバランスと地方債残高の状況 （⇒プライマリーバランスの黒字が確保されているか、その結果地方債残高はどうか）

元金償還額(臨財債を含む)	3,308	3,795	3,979	3,730	3,776	4,217			909	↓
地方債発行額(臨財債を含む)	7,584	2,802	2,405	2,678	2,749	2,020			▲ 5,564	↑
地方債残高(臨財債を含む)	48,798	47,805	46,230	45,178	44,132	41,935			▲ 6,863	↑
プライマリーバランス(発行額/償還額)	229.3	73.8	60.4	71.8	72.8	47.9	64.5	12	▲ 181.4	↑
地方債現在高倍率	224.3	229.7	222.0	213.6	209.0	195.7	191.4	18	▲ 28.6	↑

※地方債残高にはNTT債を含まないので、前年度との差引きが合わない場合がある。

〔表8〕 将来の財政負担の状況 （⇒将来的な財政負担の状況はどうか）

①地方債残高	48,798	47,805	46,230	45,178	44,132	41,935			▲ 6,863	↑
②債務負担行為支出予定額	1,767	1,914	6,863	1,778	1,534	1,400			▲ 367	↑
③基金現在高	6,962	6,354	5,032	4,191	3,267	2,471			▲ 4,491	↓
将来財政負担額(①+②-③)	43,602	43,365	48,061	42,765	42,400	40,864			▲ 2,738	↑
将来財政負担比率	200.4	208.4	230.8	202.2	200.8	190.7	178.0	22	▲ 9.7	↑
将来負担比率					217.2	206.2	128.7	33		

【国保等事業会計の状況】 ※国保(事業勘定)、国保(直診勘定)、老人保健、介護保険、介護サービスの特別会計

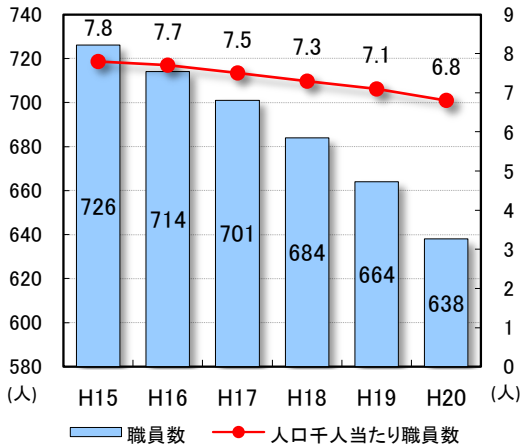
〔表9〕 収支の状況

全事業会計の実質収支合計額	755	475	236	207	38	71			▲ 684	↑
上記の標財規模に対する割合	3.5	2.3	1.1	1.0	0.2	0.3	2.4	34	▲ 3.2	↑
実質 収支の 内訳	国保(事業勘定)	775	510	242	155	7	9		▲ 766	↓
	国保(直診勘定)	0	0	2					#VALUE!	#VALUE!
	老人保健	0	0	0	0	0	0		0	↓
	介護保険	▲ 20	▲ 35	▲ 8	57	38	62		82	↑
	介護サービス				▲ 4	▲ 7	0		#VALUE!	#VALUE!

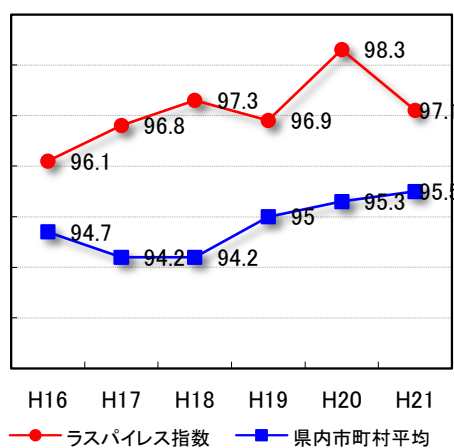
〔表10〕 一般会計等からの繰入金の状況

全事業会計の繰入金合計額	1,502	1,560	1,638	1,719	1,707	1,264			▲ 238	↑
上記の標財規模に対する割合	6.9	7.5	7.9	8.1	8.1	5.9	5.4	20	▲ 1.0	↑
繰入金 の内訳	国保(事業勘定)	512	504	532	538	498	454		▲ 58	↑
	国保(直診勘定)	21	0	0					#VALUE!	#VALUE!
	老人保健	390	414	451	476	476	45		▲ 345	↑
	介護保険	579	642	655	699	726	754		175	↓
	介護サービス				5	6	11		#VALUE!	#VALUE!

〔図5-1〕職員数と人口千人当たり職員数

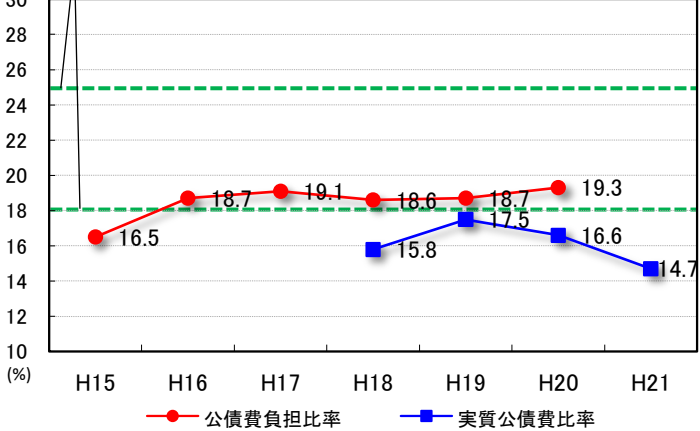


〔図5-2〕ラスパイレス指数

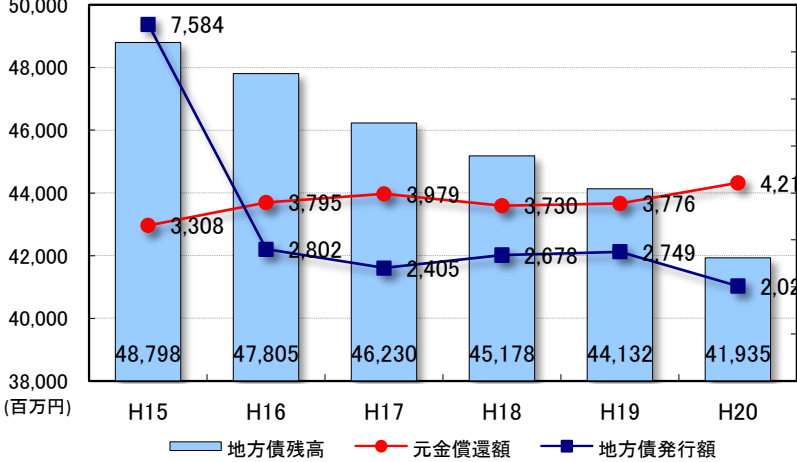


実質公債費比率基準線
(上：早期健全化基準(25%)、下：許可団体判定基準(18%))

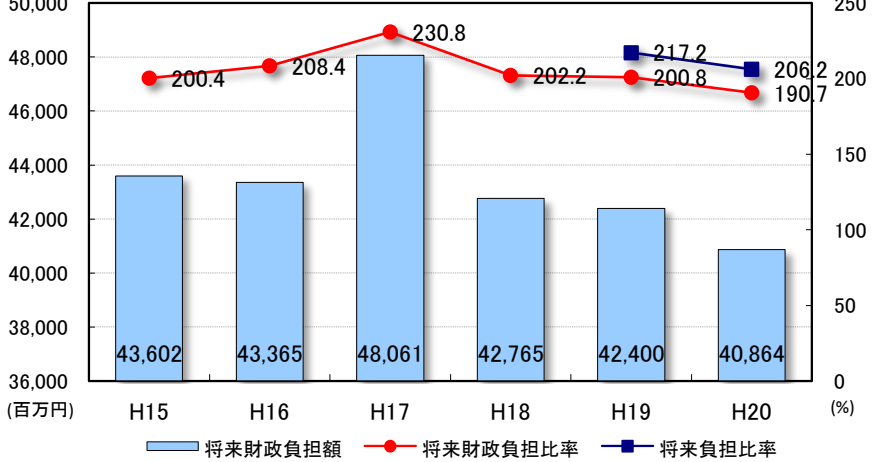
〔図5-3〕公債費負担比率と実質公債費比率



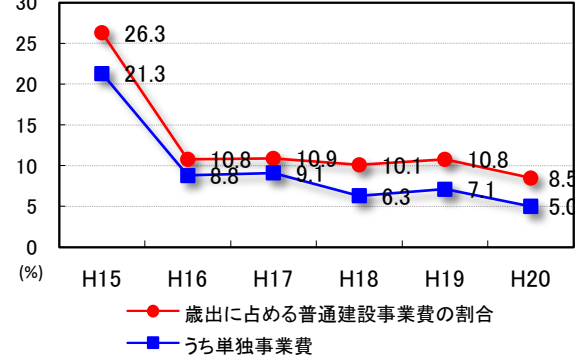
〔図7〕地方債残高とプライマリーバランス



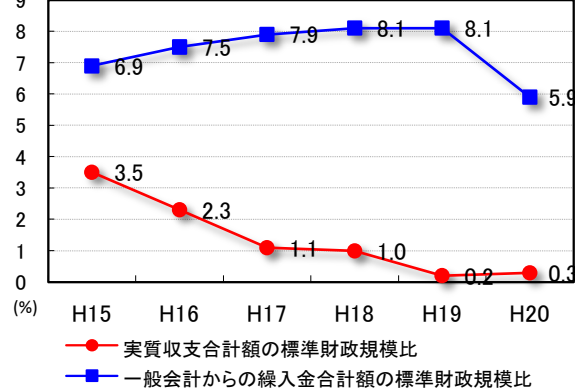
〔図8〕将来の財政負担



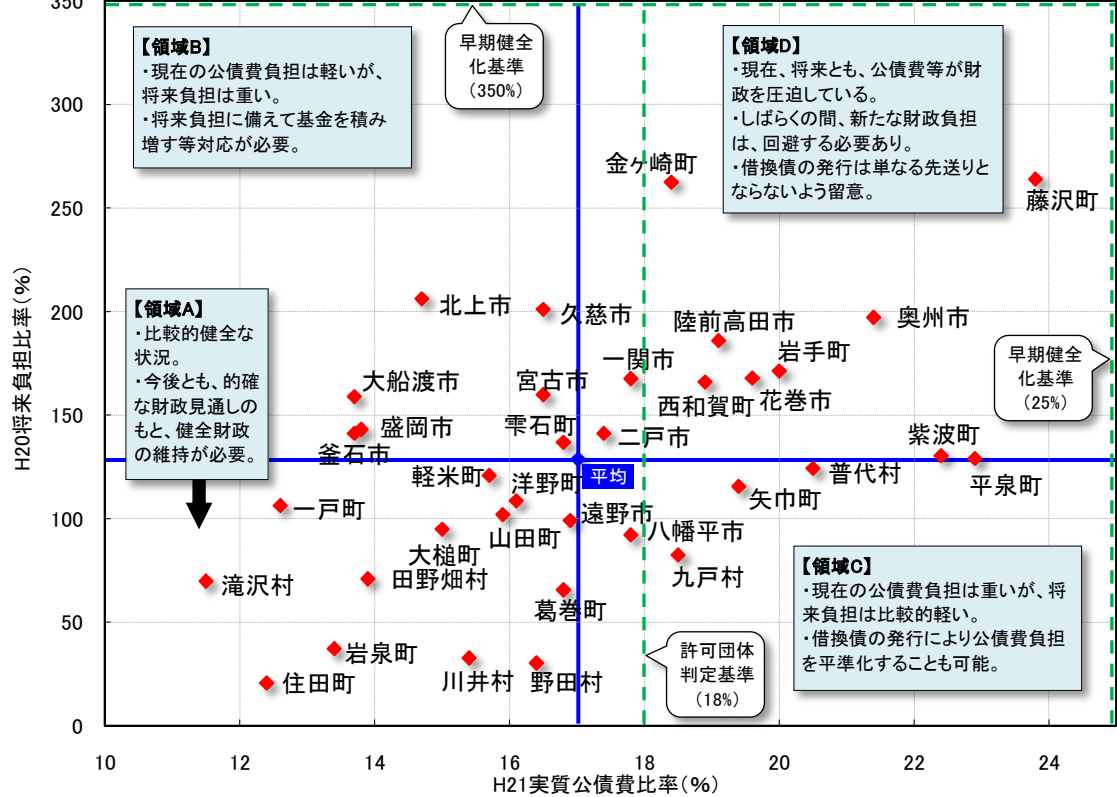
〔図6〕普通建設事業費の状況



〔図9・10〕事業会計の実質収支と繰入金



〔図5・8〕H21実質公債費比率及びH20将来負担比率の状況



【公営企業の状況】

〔表11〕収支の状況 ※法適用は純損益、法非適は実質収支

(単位:百万円、%)

項 目		H15	H16	H17	H18	H19	H20	県 平均 (H20)	H20年度の状況	
									順位	改善又は悪化 の傾向(H15比)
全公営企業会計の収支合計額		▲ 2,578	▲ 3,461	▲ 3,164	▲ 3,556	▲ 3,314	▲ 3,041			▲ 463 ↓
上記の標財規模に対する割合		▲ 11.8	▲ 16.6	▲ 15.2	▲ 16.8	▲ 15.7	▲ 14.2	0.0	35	▲ 2.4 ↓
法適用 企業	上水道	166	203	254	283	240	226			60 ↑
	公共下水道						▲ 440			#VALUE! #VALUE!
	特定公共下水道						5			#VALUE! #VALUE!
法非適用 企業	宅地造成(その他造成)	▲ 2,351	▲ 3,258	▲ 3,011	▲ 3,433	▲ 3,556	▲ 2,833			▲ 482 ↓
	駐車場	15	0	0	0	0	0			▲ 15 ↓
	公共下水道	0	0	0	0	0				#VALUE! #VALUE!
	特定公共下水道	▲ 408	▲ 408	▲ 408	▲ 408	0				#VALUE! #VALUE!
	農業集落排水	1	1	1	2	1	1			0 ↓
										#N/A #N/A
										#N/A #N/A
										#N/A #N/A

〔表12〕資金不足の状況

資金不足 比率	下水道事業					77.2	-		-		
	工業団地造成事業					31.6	19.0		-		
	宅地造成事業					35.3	18.1		-		

〔表13〕一般会計等からの繰入金の状況

全公営企業会計の繰入金合計額		1821	1706	1728	1850	1890	2648			827	↓
上記の標財規模に対する割合		8.4	8.2	8.3	8.7	9.0	12.4	7.2	33	4.0	↓
うち基準外繰入金合計額		1192	1011	1055	910	656	1226			34	↓
法適用	上水道	70	50	20	0	0	18			▲ 52	↑
企業	公共下水道						91			#VALUE!	#VALUE!
基準外	特定公共下水道						0			#VALUE!	#VALUE!
繰入金										#N/A	#N/A
法非適用 企業 基準外 繰入金	宅地造成(その他造成)	100	100	50	100	100	820			720	↓
	駐車場	0	112	128	108	114	131			131	↓
	公共下水道	723	467	521	516	259				#VALUE!	#VALUE!
	特定公共下水道	59	33	61	45	31				#VALUE!	#VALUE!
	農業集落排水	1	248	275	141	153	166			165	↓
										#N/A	#N/A
										#N/A	#N/A
										#N/A	#N/A
									#N/A	#N/A	
									#N/A	#N/A	
									#N/A	#N/A	

【一部事務組合等への財政支援等の状況】 〔表14〕一部事務組合等への負担金、補助金の状況

補助金、負担金計	1,521	1,554	1,547	1,572	1,540	1,415			▲ 106 ↑
貸付金計	0	0	0	0	0	0			0 ↓

※「貸付金計」にはH20年度決算において「貸付残高」のある組合等を掲げている → 該当無し

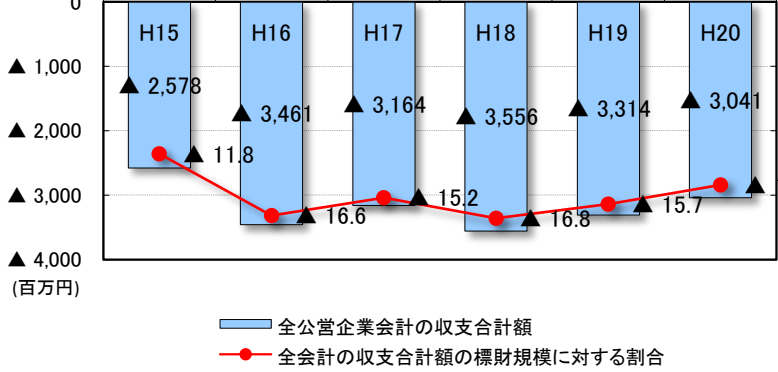
【土地開発公社への財政支援等の状況】 〔表15〕土地開発公社への補助金、貸付金、債務保証残高の状況

補助金	145	145	145	100	80	100			▲ 45 ↑
貸付金	0	0	0	0	0	0			0 ↓
債務保証残高	21817	12354	12354	9,945	9,857	9,769			▲ 12,048 ↑
平成19年度末の「供用済み土地」	-	百万円							
平成19年度末の「未収金土地」	-	百万円							

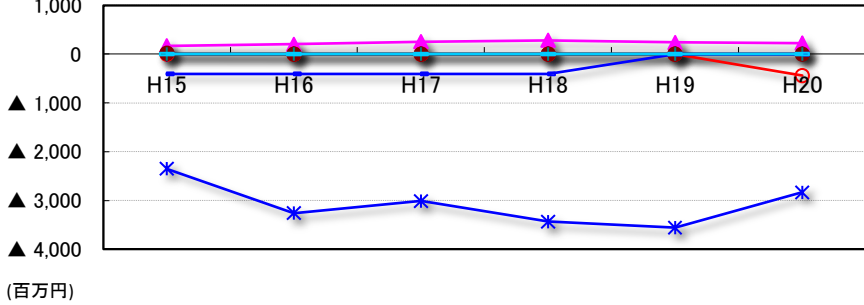
【第三セクターへの財政支援の状況】 〔表16〕第三セクターへの補助金、貸付金、損失補償残高の状況

補助金	60	105	105	92	90	76			16 ↓
貸付金	0	0	0	0	0	0			0 ↓
損失補償残高	0	0	0	0	0	0			0 ↓

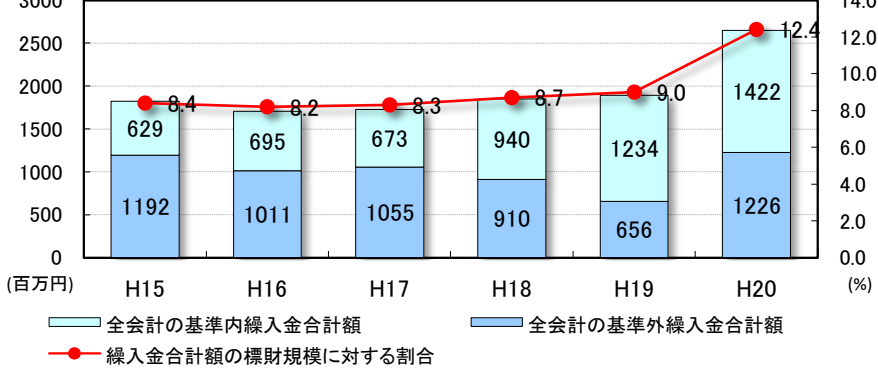
〔図11-1〕公営企業の収支の状況



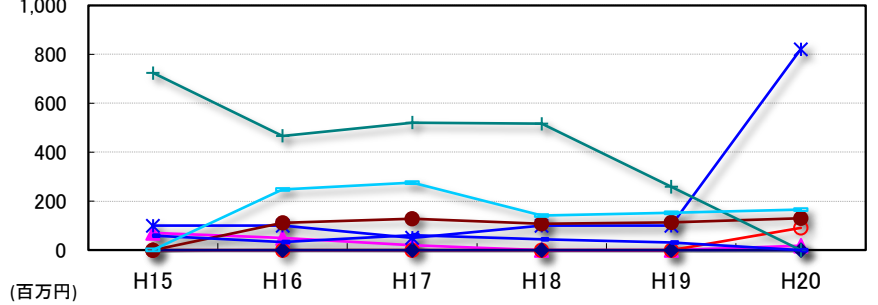
〔図11-2〕公営企業の収支の状況(会計別)



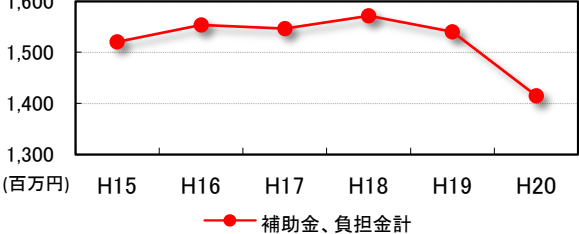
〔図13-1〕公営企業の繰入金の状況



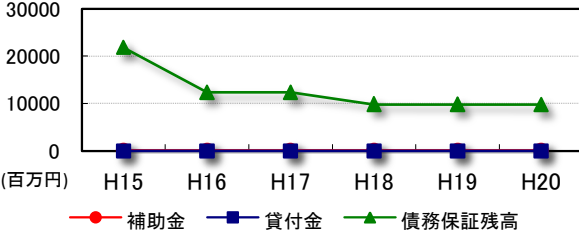
〔図13-2〕公営企業の基準外繰入金の状況(会計別)



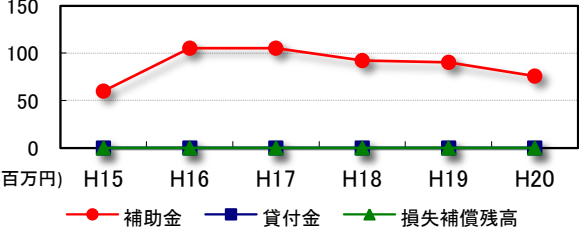
〔図14〕一部事務組合への財政支援の状況



〔図15〕土地開発公社への財政支援の状況



〔図16〕第三セクターへの財政支援の状況



〔図13-3〕H20企業債残高とH20公営企業の繰入金の状況

